

36 サツマクリイロカワザンショウ

Angustassiminea satumana (カワザンショウガイ科)

兵庫県ランク:C

環境省ランク:指定なし

種の概要

関東地方から九州にかけて分布し、内湾環境下にある河口のヨシ帯や礫帯、岩礫海岸に生息する。本種とされる貝には、複数種が存在していることは明らかであるが、形態上の区別が容易でない。殻長3mm前後で、クリイロカワザンショウ(貝類Cランク)よりも小型で殻質が薄い。殻色は黄褐色で透明感があり光沢を有する。軟体は淡い黄褐色で透明感があり、赤い口球などが透けて見える。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	△			

県内分布

高砂市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、南あわじ市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島と播磨灘流入の河口にある干潟のヨシ帯から礫場に生息する。なお、県内においても本種として扱っているものには複数種含まれている可能性がある。

保護上の留意点

河口等の干潟において、ヨシや塩生植物が生え、その底床は小礫混じりの砂泥で、かつヨシの枯れ茎などの植物残骸などがある程度堆積している環境が必要。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 増田修